



Hyper-VおよびSQL Server over SMB構成の管理

ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

Hyper-VおよびSQL Server over SMB構成の管理	1
既存の共有への継続的可用性の設定	1
Hyper-V over SMBバックアップでのVSSシャドウ コピーの有効化と無効化	4

Hyper-VおよびSQL Server over SMB構成の管理

既存の共有への継続的可用性の設定

既存の共有を継続的な可用性が確保された共有に変更することができます。継続的な可用性が確保された共有は、Hyper-VおよびSQL Serverアプリケーション サーバがHyper-V仮想マシンおよび構成ファイルやSQL Serverデータベース ファイルに無停止でアクセスするために使用します。

タスク概要

既存の共有が以下に該当する場合、SMB経由のアプリケーション サーバによる無停止での操作に継続的可用性を備えた共有として使用することはできません。

- `homedirectory` その共有に共有プロパティが設定されている場合
- 共有に有効なシンボリックリンクまたはワイドリンクが含まれている場合
- 共有のルートにジャンクション ボリュームが含まれている場合

次の2つの共有パラメータが正しく設定されていることを確認する必要があります。

- `-offline-files``パラメータは `manual` (デフォルト) または `none` に設定されます。
- シンボリック リンクが無効になっている必要があります。

次の共有プロパティが設定されている必要があります。

- `continuously-available`
- `oplocks`

次の共有プロパティが設定されていないことが必要です。現在の共有プロパティに含まれている場合は、継続的な可用性が確保された共有から削除する必要があります。

- `attributecache`
- `branchcache`

手順

1. 現在の共有パラメータの設定と、設定済みの共有プロパティの現在のリストを表示します。

```
vserver cifs share show -vserver <vserver_name> -share-name <share_name>
```

2. 必要に応じて、`vserver cifs share modify` コマンドを使用して共有パラメータを変更し、シンボリックリンクを無効にしてオフライン ファイルを手動に設定します。
 - `-symlink``パラメータの値を `""` に設定することで、シンボリックリンクを無効にすることができます。
 - `manual`` を指定することで `-offline-files``パラメータを正しい設定にすることができます。

3. continuously-available 共有プロパティを追加し、必要に応じて oplocks 共有プロパティを追加します：

```
vserver cifs share properties add -vserver <vserver_name> -share-name <share_name> -share-properties continuously-available[,oplock]
```

`oplocks` 共有プロパティがまだ設定されていない場合は、`continuously-available` 共有プロパティとともに追加する必要があります。

4. 継続的な可用性が確保された共有でサポートされていない共有プロパティを削除します。

```
vserver cifs share properties remove -vserver <vserver_name> -share-name <share_name> -share-properties properties[,...]
```

共有プロパティをカンマで区切って指定して、1つ以上の共有プロパティを削除することができます。

5. `-symlink` および `-offline-files` パラメータが正しく設定されていることを確認します：

```
vserver cifs share show -vserver <vserver_name> -share-name <share_name> -fields symlink-properties,offline-files
```

6. 設定済みの共有プロパティのリストが正しいことを確認します。

```
vserver cifs share properties show -vserver <vserver_name> -share-name <share_name>
```

例

次の例は、Storage Virtual Machine (SVM) 「vs1」の「share1」という名前の既存の共有をSMB経由のアプリケーション サーバによる無停止操作用に設定する方法を示しています。

- `-symlink` パラメータを `""` に設定すると、共有上のシンボリックリンクが無効になります。
- `-offline-file` パラメータが変更され、`manual` に設定されます。
- `continuously-available` 共有プロパティが共有に追加されます。
- `oplocks` 共有プロパティはすでに共有プロパティのリストに含まれているため、追加する必要はありません。
- `attributecache` 共有プロパティが共有から削除されます。
- `browsable` 共有プロパティは、SMB 経由のアプリケーション サーバーを使用した NDO 用の継続的に利用可能な共有ではオプションであり、共有プロパティの1つとして保持されます。

```
cluster1::> vserver cifs share show -vserver vs1 -share-name share1
```

```
          Vserver: vs1
          Share: share1
CIFS Server NetBIOS Name: vs1
          Path: /data
    Share Properties: oplocks
                    browsable
                    attributecache
    Symlink Properties: enable
    File Mode Creation Mask: -
    Directory Mode Creation Mask: -
    Share Comment: -
          Share ACL: Everyone / Full Control
File Attribute Cache Lifetime: 10s
          Volume Name: data
          Offline Files: documents
Vscan File-Operations Profile: standard
```

```
cluster1::> vserver cifs share modify -vserver vs1 -share-name share1
-offline-file manual -symlink ""
```

```
cluster1::> vserver cifs share properties add -vserver vs1 -share-name
share1 -share-properties continuously-available
```

```
cluster1::> vserver cifs share properties remove -vserver vs1 -share-name
share1 -share-properties attributecache
```

```
cluster1::> vserver cifs share show -vserver vs1 -share-name share1
-fields symlink-properties,offline-files
vserver  share-name symlink-properties offline-files
```

```
-----
vs1      share1  -                manual
```

```
cluster1::> vserver cifs share properties show -vserver vs1 -share-name
share1
```

```
          Vserver: vs1
          Share: share1
Share Properties: oplocks
                    browsable
                    continuously-available
```

Hyper-V over SMBバックアップでのVSSシャドウ コピーの有効化と無効化

VSS対応バックアップアプリケーションを使用してSMB共有に保存されているHyper-V仮想マシン ファイルをバックアップする場合は、VSSシャドウ コピーを有効にする必要があります。VSS対応バックアップアプリケーションを使用しない場合は、VSSシャドウ コピーを無効にすることができます。デフォルトでは、VSSシャドウ コピーが有効になっています。

タスク概要

VSS シャドウ コピーはいつでも有効または無効にできます。

手順

1. 権限レベルをadvancedに設定します。

```
set -privilege advanced
```

2. 次のいずれかを実行します。

VSS shadow copy を作成する場合...	コマンドを入力してください...
有効	<pre>vserver cifs options modify -vserver vserver_name -shadowcopy-enabled true</pre>
無効	<pre>vserver cifs options modify -vserver vserver_name -shadowcopy-enabled false</pre>

3. admin権限レベルに戻ります。

```
set -privilege admin
```

例

次のコマンドは、SVM vs1でVSSシャドウ コピーを有効にします：

```
cluster1::> set -privilege advanced
Warning: These advanced commands are potentially dangerous; use them
only when directed to do so by technical support personnel.
Do you wish to continue? (y or n): y

cluster1::*> vserver cifs options modify -vserver vs1 -shadowcopy-enabled
true

cluster1::*> set -privilege admin
```

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。